



2023年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月13日

上場会社名 株式会社メディア工房 上場取引所 東
 コード番号 3815 URL <http://www.mkb.ne.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長沢 一男
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 長沢 和宙 (TEL) 03-5549-1804
 四半期報告書提出予定日 2023年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第1四半期の連結業績(2022年9月1日~2022年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第1四半期	506	△10.3	10	△83.2	8	△86.4	2	△95.2
2022年8月期第1四半期	564	26.0	63	—	60	—	52	887.9

(注) 包括利益 2023年8月期第1四半期 2百万円(△95.3%) 2022年8月期第1四半期 52百万円(852.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年8月期第1四半期	円 銭 0.25	円 銭 —
2022年8月期第1四半期	5.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年8月期第1四半期	百万円 2,705	百万円 1,312	% 48.5
2022年8月期	3,006	1,355	45.1

(参考) 自己資本 2023年8月期第1四半期 1,312百万円 2022年8月期 1,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	4.50	4.50
2023年8月期	—	—	—	—	—
2023年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日~2023年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	2,150	△2.4	150	△22.6	140	△23.0	95	△38.2	8.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2023年8月期の通期業績見通しは、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。各事業の進捗並びに業績に与える影響を精査の上、当該連結業績予想に変更が生じた際は、速やかに訂正・開示いたします。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

※詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年 8 月期 1 Q	11,300,000株	2022年 8 月期	11,300,000株
② 期末自己株式数	2023年 8 月期 1 Q	1,221,077株	2022年 8 月期	1,221,077株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年 8 月期 1 Q	10,078,923株	2022年 8 月期 1 Q	10,078,923株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載される業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績のご利用に当たっての注意事項等に関しては、添付資料「1. 経営成績・財務状態に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(収益認識関係)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を目的とした日常生活における制約や海外渡航制限が緩和され、経済活動が緩やかに正常化に向かいました。しかしながらウクライナ情勢をはじめ、依然として安定しない地政学的リスクによる原油価格等の高騰、急激な円安進行等の影響により、厳しい状況が継続いたしました。

このような情勢の中、当社グループは、既存事業における収益拡大及び新規事業（SNS事業）の立ち上げを推進してまいりましたが、既存事業において、ISP各社における古いコンテンツの配信停止等が影響し、売上が前第1四半期連結累計期間ほどの伸びを見せず減少し、利益面においては、売上減少による影響の他、新規事業におけるサービス開発や会員制インドアゴルフ店舗の開設・運営に係る費用の先行が影響いたしました。また、実行には至りませんでした。M&A案件の検討に係る費用として、9百万円を計上しております。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高506百万円(前年同期比10.3%減)、営業利益10百万円(前年同期比83.2%減)、経常利益8百万円(前年同期比86.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益2百万円(前年同期比95.2%減)となりました。

セグメントごとの取組み内容及び経営成績は、以下のとおりであります。

① デジタルコンテンツ事業

デジタルコンテンツ事業においては、自社Webサイト、ISP、各移動体通信事業者及びApple や Google 等のプラットフォーム向けに古い鑑定や女性に向けた記事コンテンツを企画・制作・配信する、1対N向けのサービスを行っております。当第1四半期連結累計期間においては、ISP各社における古いコンテンツの配信停止・縮小方針の決定が影響し、前年同期比で売上収益が減少しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるデジタルコンテンツ事業の売上高は313百万円(前年同期比11.5%減)、営業利益は117百万円(前年同期比20.5%減)となりました。

② One to One 事業

One to One 事業においては、ユーザーと占い師をはじめとするキャストを電話等で直接結び付ける、双方向のやり取りを特徴とした1対1向けのサービスを行っており、サービスの内容は「占い」と「非占い」の二つに分類されております。当第1四半期連結累計期間については、特に占いサービスにおいて若干売上の頭打ち傾向がみられ、売上利益ともに減少いたしました。これに対し、業務最適化による収益拡大を図るため、サービスシステム及び管理システムの改修等を進めておりますが、これについてはソフトウェア仮勘定に計上しております。一方、人件費が前年同期比で増加しており、営業利益に影響しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるOne to One 事業の売上高は192百万円(前年同期比4.8%減)、営業利益は22百万円(前年同期比21.7%減)となりました。

③ XR 事業

XR 事業においては、自社独自開発のリアルタイム実写立体動画撮影技術「SUPERTRACK」を活用した撮影サービス、コンテンツ制作の受託の他、他企業とのIPアライアンス等を推進しております。当第1四半期連結累計期間においては、各事業の進捗を勘案し、全社リソースを配分した結果、事業部の開発人員（エンジニア）をSNS事業の新規サービス開発に投入したことから、XR事業としては売上獲得に至らず営業損失を計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるXR事業の売上高は一百万円(前年同期は売上高0百万円)、営業損失は3百万円(前年同期は営業損失3百万円)となりました。

④ SNS 事業

SNS 事業においては、ソーシャルプラットフォームの運営及びサービス企画の他、株式会社LoungeRange（本社：東京都品川区 代表取締役：古川 真一）とのフランチャイズ契約に基づく会員制インドアゴルフの店舗運営を行っております。

前連結会計年度末にフォトグラメトリー技術による仮想共同空間を搭載した団体性マッチングアプリ「OneRoof」をリリースした他、9月より会員制インドアゴルフの運営を本格化しておりますが、当第1四半期連結累計期間においては、いずれもユーザー獲得期であることから、売上への貢献は軽微となり、営業損失を計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるSNS事業の売上高は0百万円（前年同期は売上高7百万円）、営

業損失35百万円(前年同期は営業損失29百万円)となりました。

⑤ その他

当社グループは、2020年8月期から2021年8月期にかけて、事業の選択と集中のため、ゲームコンテンツ事業及びインバウンド・アウトバウンド事業から撤退しておりますが、一部については取引等を継続しております。当第1四半期連結累計期間において発生したこれらの撤退事業に関連する取引等の売上については、一括して「その他」セグメントとして区分し、計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間におけるその他の売上高は1百万円(前年同期比6.4%減)、営業損失1百万円(前年同期は営業損失3百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の当社グループの財政状況は以下のとおりです。

なお、資本の財源及び資金の流動性にかかる情報については、当第1四半期連結会計期間末において、重要な変更等はありません。

① 資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して300百万円減少し、2,705百万円となりました。

これは主に、現金及び預金の減少287百万円及び売掛金の減少20百万円によるものであります。

資産の内訳は、流動資産2,412百万円、有形固定資産39百万円、無形固定資産46百万円、及び投資その他の資産207百万円となっております。

② 負債の状況

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して257百万円減少し、1,392百万円となりました。

これは主に、1年以内返済予定の長期借入金の返済99百万円及び長期借入金の返済141百万円によるものであります。

負債の内訳は、流動負債923百万円、固定負債469百万円となっております。

③ 純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末と比較して42百万円減少し、1,312百万円となりました。

これは主に、利益剰余金の減少42百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、4つの事業に経営資源を集中し、デジタルコンテンツ事業及びOne to One 事業を中心として安定的かつ長期的な収益を確保すると同時に、成長事業に積極的かつ継続的な投資を行うことで経営の多角化を推進し、業績及び時価総額の向上に努めてまいります。

また、財務面に関しましては、これまで同様、資産の透明性を確保し、新規事業への挑戦を安定した内部留保によって下支えする健全な経営を行う考えであります。

なお、各事業別の見通し及び2023年8月期の通期業績見通しにつきましては、2022年10月7日の「2022年8月期決算短信」で公表しました通期業績予想に変更はありません。これらの数値は、各事業の見通しに基づき予測する数値となっております。従って、新規事業の進捗に変更がある場合、利用ユーザー数が大幅に見込みを上回る若しくは下回る場合又は当社グループ事業に関連する法令が改正されあるいは情勢が変化した場合、変動する可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,384,111	2,096,809
売掛金	287,102	266,738
商品	68	-
仕掛品	9,796	9,806
貯蔵品	326	323
その他	35,728	39,296
貸倒引当金	△737	△561
流動資産合計	2,716,395	2,412,411
固定資産		
有形固定資産	42,546	39,386
無形固定資産	34,103	46,235
投資その他の資産		
敷金及び保証金	93,001	92,902
その他	120,289	114,608
貸倒引当金	△235	△235
投資その他の資産合計	213,055	207,276
固定資産合計	289,706	292,898
資産合計	3,006,101	2,705,310
負債の部		
流動負債		
買掛金	57,203	53,282
1年内返済予定の長期借入金	799,748	699,848
未払費用	43,649	40,537
未払法人税等	11,722	3,059
未払消費税等	18,317	14,859
その他	109,139	111,652
流動負債合計	1,039,781	923,239
固定負債		
長期借入金	610,894	469,532
固定負債合計	610,894	469,532
負債合計	1,650,675	1,392,771

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	451,459	451,459
資本剰余金	422,578	422,578
利益剰余金	996,518	953,645
自己株式	△514,204	△514,204
株主資本合計	1,356,352	1,313,479
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△926	△940
その他の包括利益累計額合計	△926	△940
純資産合計	1,355,426	1,312,538
負債純資産合計	3,006,101	2,705,310

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年9月1日 至2021年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年9月1日 至2022年11月30日)
売上高	564,501	506,627
売上原価	278,135	250,373
売上総利益	286,365	256,253
販売費及び一般管理費	222,749	245,568
営業利益	63,615	10,684
営業外収益		
受取利息	1	0
その他	12	222
営業外収益合計	13	222
営業外費用		
支払利息	2,997	2,688
その他	350	-
営業外費用合計	3,347	2,688
経常利益	60,281	8,218
税金等調整前四半期純利益	60,281	8,218
法人税、住民税及び事業税	13,198	453
法人税等調整額	△5,060	5,283
法人税等合計	8,137	5,736
四半期純利益	52,143	2,482
親会社株主に帰属する四半期純利益	52,143	2,482

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益	52,143	2,482
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	258	△14
その他の包括利益合計	258	△14
四半期包括利益	52,402	2,467
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	52,402	2,467

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。

なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	デジタルコ ンテンツ 事業	One to One 事業	XR 事業	SNS 事業	計				
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	353,679	201,965	10	7,708	563,364	1,136	564,501	—	564,501
外部顧客への売上 高	353,679	201,965	10	7,708	563,364	1,136	564,501	—	564,501
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	353,679	201,965	10	7,708	563,364	1,136	564,501	—	564,501
セグメント利益又は セグメント損失(△)	147,664	28,935	△3,639	△29,090	143,869	△3,345	140,523	△76,908	63,615

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゲーム事業などの事業を含んでおります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△76,908千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用76,908千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	デジタルコ ンテンツ 事業	One to One 事業	XR 事業	SNS 事業	計				
売上高									
顧客との契約から 生じる収益	313,017	192,262	—	284	505,563	1,064	506,627	—	506,627
外部顧客への売上 高	313,017	192,262	—	284	505,563	1,064	506,627	—	506,627
セグメント間の 内部売上高又は振 替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	313,017	192,262	—	284	505,563	1,064	506,627	—	506,627
セグメント利益又は セグメント損失(△)	117,396	22,653	△3,322	△35,573	101,153	△1,576	99,576	△88,892	10,684

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ゲーム事業などの事業を含んでおります。
2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額△88,892千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用88,892千円が含まれております。全社費用は、主に当社の管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。